

～院長コラム～

『 おむつかぶれは減ったか 』

布のおむつを使用している方はずいぶん減って、紙おむつが大勢を占めているのが現状でしょう。

紙おむつの性能が格段に向上したおかげでおむつかぶれは減ったと言われています。

布おむつと紙おむつをでは使用してできるおむつかぶれ発症に差はないようです。

布は綿できていますので何度も洗って日干しするとパリパリになってしまふ。

毎日洗っていても固くなっていきます。おしりの皮膚の表面にあるバリアが壊れやすいということです。高齢者のおむつも然りです。

紙おむつのトップシートは不織布と言われるものです。

これが皮膚の表面を傷つけないようになっており、尿を吸収した後、凝固させるものが入っています。日本の技術力の高さを示します。尿よりも便が長時間停滞するとかぶれができやすいからです、便を見たらすぐにおむつを取り換えることが大切です(尿でも同じですが)。

皮膚の表面が痛くなってきたら、膜を作る意味で白色ワセリンが推奨されていますが、私は紫雲膏(しうんこう)を塗ってもらっています。痛みが早く取れます。

「子ども健康ネットブログ」より



なかしまこどもネット QRコード
※名前を入力して送信して下さい



子ども健康ネットブログ
QRコード

なかしまこどもクリニック



通信

2014年12月号

なかしまこどもクリニック 瑞穂市十九条(パロー北)

ホームページ www.n-kodomo.com

診療時間		月	火	水	木	金	土	日
午前	8:30~12:00	○	○	○	○	○	○	
午後	14:00~15:00		△		★	△		
	16:00~18:30	○	○			○		

★:漢方外来 14:00~17:30 受付 △:乳幼児健診及び予防接種



診療予約

058-327-4891

お問い合わせ

058-327-3100